

き
ほ
う

58

あきんどおくら広場

2026年 1月号
(令和8年)

■発行■ 紀宝町商工会
(編集) 広報委員会

〒519-5701
三重県南牟婁郡紀宝町鶴殿1410
TEL 0735-29-1515
FAX 0735-29-1516

この会報は年3回発行します。
1月には町内全世帯に配布します。



道普請の作業中

の商産
コ工屋
メ会敷
ント理事
ト事博

少し前に奥野々を訪れましたが、弁慶を祀る産屋敷一族の元集落はとても静かで良い場所でした。アニメ『鬼滅の刃』で「産屋敷」が話題になりましたが、主人公の炭治郎が修行した山や岩などに似た景色もあります。ひとつの町おこしの話題として活用しても良いのかな。ただし、訪れる際はマナーを守っていただきたいと思います。

そして、元集落への林道と神様のお世話を続けてくださっている大里の産屋敷基久さんには、感謝申し上げます。

人気アニメ『鬼滅の刃』産屋敷姓発祥の地

紀宝町大里奥野々(おくのの)

人気作品『鬼滅の刃』の登場人物“お館様”の姓「産屋敷(うぶやしき)」が、紀宝町奥野々に由来を持つのではないかと、SNSやWeb記事、YouTubeなどで紹介され、話題を集めている。

お稲荷さんの祠に
手を合わせる
産屋敷基久さん



奥野々は、かつて産屋敷一族が暮らしていた山あいの集落で、車で入れず、現在は無住の地となっている。だが、小さな神社や祠(ほくら)に、かつての里の痕跡が静かに残されている。この奥野々が今日まで失われずに残っているのは、山道を登り、神社や祠を手入れしている産屋敷基久さんの存在が大きい。

「祖父が鬼滅の産屋敷耀哉なんや(本当は違うけどね)」と笑いながら案内してくれた基久さんに、今回は同行いただいた。奥野々へは津本防災センターを出発し、中継地点の「二つ石」を経由する。この場所には、『鬼滅の刃』柱稽古編の岩押し修行を思わせる巨石が点在している。そこから先の山道には、平成23年の紀伊半島大水害による傷

跡が今も残る。車も入れないこの道の補修を、基久さんとその親族が行っている。

奥野々には、墓地や田の神、お地蔵さん、お稲荷さん、「弁慶の墓」と呼ばれる祠が静かに点在する。紀宝町鮎田には「弁慶産屋の楠跡」があるが、奥野々にあるこの祠も弁慶ゆかりのものとされる。その石の祠は、かつて基久さんの叔父たちが拝み屋の指示のもと、真夜中に山道を担いで運んだものだという。祠の裏手へ回るよう促されると、そこには意匠のない三角形の石が静かに立っていた。基久さんいわく、「こちらが本当の『弁慶の墓』ときいています」とのこと。

集落跡の中心には原っぱがあり、毎年2月には産屋敷一族が集まり、祭りを行っている。人知れず続けられてきたこの営みが、奥野々を“生きた場所”として今に伝えている。

『鬼滅の刃』によって偶然注目を集めることとなった奥野々だが、そこには、山の祈り、祖先の記憶、そして地域に根ざした営みが、今も確かに息づく紀宝町のかけがえのない文化遺産である。

弁慶墓の表側



山あいに残る祈りと記憶

今も静かに受け継がれる守り

新年のご挨拶

紀宝町商工会
会長 田尾 友児



新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

令和7年、町内では新宮紀宝道路の利用が本格化し、物流の効率化や観光客の回遊増加といった地域経済の変化が徐々に現れてまいりました。また、物価高や人手不足など事業者を取り巻く環境は厳しいものがございますが、当会では経営相談や補助金活用支援を通じ、会員の皆様とともに歩んで参りました。

令和8年は、紀宝熊野道路の工事が進展し、当地域の広域交通網整備がさらに前進する年となる見込みです。加えて、地域資源を活かした販路開拓・デジタル化支援といった中小企業施策にも一層力を入れてまいります。人口減少・人手不足という構造的課題に真摯に向き合い、町外・町内から「住み・働き・訪れたくなる町」へと一歩一歩進めていく所存です。

最後になりますが、皆様にとりまして健康と幸多き年となりますよう心よりご祈念申し上げます。町の商工業発展のために使命を新たに、新年のご挨拶とさせていただきます。

紀宝町商工会

秋のイベント

10月、11月に商工会が関係したイベントです。



◆10月2日(木)、3日(金) 経営分析・事業計画セミナー (紀宝町商工会)



◆10月12日(日) 中能登町町制20周年記念音楽イベント (中能登町レクトピアパーク)

◆11月14日(金) 第29回買いまっせ! 売れ筋商品発掘市 (マイドームおおさか)



◆10月22日(水) 商工会法施行65周年記念三重県商工会大会 (三重県総合文化センター)



◆10月19日(日) 第19回紀宝町みなとフェスティバル (鵜殿港)



◆11月15日(土)、16日(日) 第13回ふじさき秋まつり (藤崎町スポーツプラザ藤崎)



◆11月19日(水) 税制改正セミナー (紀宝町商工会)

- ★12月16日(火) 商品開発セミナー (紀宝町商工会)
- ★12月18日(木) 高校生と地元企業との交流会 (熊野青藍高校)
- ※青年部・女性部イベントは4面に掲載



◆11月26日(水)~28日(金) WellnessTokyo 2025 (東京ビッグサイト)



◆11月20日(木) 第65回商工会全国大会 (NHKホール)

NAIL SALON ali.

新しい
会員さんです
よろしく

ゆう はり・きゅう院

指先から、毎日をちよっと素敵に

2024年5月にオープンした「nail salon ali. (アリ)」は、シンプルデザインやニュアンスネイルを得意とするネイルサロンです。

年齢を問わず、どなたでもネイルを楽しんでいただけるサロンづくりを心がけています。お爪にコンプレックスがある方や、ジェルネイルが初めての方も大歓迎。「少しでも気にならないようにしたい」「指先をきれいに見せたい」という思いに寄り添って丁寧に施術いたします。

予約は24時間いつでもできる簡単予約システムを導入しており、変更もスムーズで便利です。メンズネイルも対応しており、ご新規様も受付中です。当店は完全予約制となっております。公式LINEよりご予約のうえご来店ください。最新デザインはInstagramでもご覧頂けます。



@ALI.NAIL8



ali ← 入回は共用 → ゆう

2024年7月にオープンした当院は、女性専用・完全予約制の鍼灸院です。

30代から80代まで幅広い年代の方にご来院いただき、首・肩こりや腰痛をはじめ、女性特有のお悩みまで多様な症状に対応しています。

お一人おひとりの状態に合わせ、西洋医学と東洋医学の知識を組み合わせた最適な施術をご提供しています。中でも一番人気のメニューは、お顔への施術「美容鍼」。12月からは、新たにお肌にやさしいピーリングも導入し、より「美と健康」をサポートできるようになりました。

日々忙しく過ごす女性が、“また明日から元気に過ごせる身体づくり”を目指せるよう、心を込めて施術いたします。興味のある方は、ぜひInstagramをご覧ください。



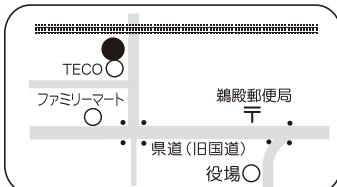
@YU_HARI.KYU

頑張る女性のサポーター



LINE

代表：産屋敷有沙さん
住所：紀宝町鵜殿789-2
(目印はTECO様)
営業時間：10:00～17:30
(最終受付16:00)
定休日：日・祝



代表：産屋敷悠美さん
住所：紀宝町鵜殿789-2
(目印はTECO様)
営業時間：平日10:00～16:00
土曜日(不定期)
9:00～12:00



LINE

三重・和歌山両県連携で整備促進をアピール



11月19日(水)、東京にて「令和7年度 近畿自動車道紀勢線建設促進協議会促進大会」が開催されました。近畿自動車道紀勢線は紀伊半島の振興や防災力向上に不可欠な路線であり、早期整備が強く望まれています。本大会は三重・和歌山両県が連携し、国に対して整備促進をアピールする場として毎年開催され、今年は約150名が出席しました。

地元からの切実な声として、和歌山県側からは(一社)那智勝浦観光機構理事長・松下哲也氏が、観光の個人化や価値観の変化を踏まえ、高速道路には「速さ」だけでなく「地域を持続させる役割」が求められると強調。防災、交通手段の多様化、自動運転技術などを

挙げ、道路を活かして「通過される町」から「滞在される町」に転換する必要性を訴えました。

三重県側からは、熊野市防災対策課長・小山宗宏氏が35年の消防経験を踏まえ発言。阪神・淡路大震災や紀伊半島大水害で道路寸断により救助が遅れた悔しさを語り、紀勢線は救急搬送や被災地支援を結ぶ“命の道”であるとして、4車線化を含む早期整備を強く求めました。

最後に西田紀宝町長が大会決議案を朗読し、満場の拍手で大会は締めくくられました。その後、出席者は国会議員や国土交通省、財務省などへの要望活動を実施しました。

地域を挙げた継続的な取組が工事の進展につながり、住民生活の暮らしにも直結しています。今後も地域一体となって後押ししていきましょう！

【集合写真は、三重県関係の参加者】



松下哲也氏



小山宗宏氏

紀伊半島一周高速道路開通に向けて③

10月5日(日)、熊野市の井戸小学校体育館にて熊野エリア商工青年部協議会のイベントに参加しました。今年は熊野商工会議所青年部主催で、スポーツチャンバラ大会が行われました。

大会の前には熊野市の観光名所、花の窟や鬼ヶ城を散策する時間があり、逆に近くということではなかなか行く機会も無く、宮司さんの説明もあり有意義な時間でした。

大会は5人1組のチーム戦で初めてお会いする方もいて緊張しました。いざ始まると1試合5分という時間でしたが、球技と違いずっと動き回らないといけないのでかなり体力を使い皆ヘトヘトになっていました。夜には、海ひかりでの懇親会も行われ、楽しい1日を過ごしました。〈古屋敷〉



外国人講師がインバウンド対策を講演

令和7年11月12日(水)に、南伊勢町民文化会館にて開催された「南部ブロック商工会青年部研修会」に、紀宝町商工会青年部から森まりか副部長が参加しました。

本研修会は「SNS Marketing Solution 外国人が訪れたいくなる地域ブランディングを作るには?」と題し、訪日観光コンサルティングのシャー・チュアン・トニー氏を講師にお迎えしました。講演では、地方のインバウンド対策がうまくいかない主な理由を「魅力の整理不足」・「魅力の可視化不足」・「魅力の拡散不足」の3点に集約して解説されました。

また、5人程度の班に分かれてグループセッションを実施。各地域(みかん、度会茶など)のローカル資源を基に、キャッチコピーとブランドストーリーを話し合いました。〈上村〉



「また行きたいね」の声も



11月13日、女性部のみなさんと一緒に「なんばグランド花月」と「千日前道具屋筋商店街」へお出かけしました。

なんばグランド花月では、テレビでよく見る漫才や落語、新喜劇を目の前で楽しむことができました。今回は特別公演ということもあり出演者もとても豪華で、客席からの距離も近く、みなさん自然と笑顔に。テレビとはまた違う“生”のおもしろさに、会場は終始笑いに包まれていました。

そのあとは千日前道具屋筋商店街へ。普段はカタログで注文している調理器具や看板を実際に見て回ることができ、「これ欲しい!」「実物を見ると安心ね」など、楽しそうな声があちこちで聞こえてきました。

出発も帰りも暗い時間でしたが、笑って過ごした一日のおかげで、みなさんとてもリフレッシュされた様子で、「楽しかった」「また行きたいね」とうれしい声もいただきました。

これからも女性部のみなさんと、楽しく交流できる活動を続けていければと思います。どうぞよろしくお願いします。

女性部 だより

津波避難タワーを体験



令和7年10月2日、紀宝町役場防災対策課の堀課長・榎本主任のご協力をいただき、鶴殿1組津波避難タワーで防災勉強会を行いました。

当日はスロープや階段を使って実際に上まで上がり、避難時の動きを体験しました。避難階では「100人収容には少し狭いかも」と感じましたが、タワーは短時間の“一時避難場所”であると説明を受け納得できました。

タワー内には多目的トイレや女子トイレ、授乳・着替え用の個室、防災食や水、救急箱、毛布、ソーラー付き蓄電池などが備蓄されています。トイレは臭いが外に漏れにくい構造になっているとのことでした。帰りには鶴殿2組タワーの位置確認し、防災への理解をさらに深めました。(令和8年に完成予定で井田茶屋地地区にも建設が進められています)

強風による火災、台風被害、土砂災害など自然災害が相次ぐ中、今回の勉強会は、日々の忙しさの中で薄れていた防災意識を見直す良い機会となりました。〈庄司〉

- 去年一年、読者の皆さんに読み続けてもらえた「あきんどあ」、さて、読みごたえはあったでしょうか? 少しは役に立ったでしょうか?人は皆、畑で、海で、山で、日本で、世界で日々励んでいます。「あきんどあ」も励まないと、の思いがつのります。本年も宜しくお願い致します。〈数本道雄・広報委員長〉
- 近年、女性の政治家の活躍が、たのしい存在になっています。今までの問題がすごい勢いで変わって行きます。見ていて「男前やな!」とつくづく思います。女性に対してこんな事言うとかセクハラになるのでしょうか? 〈田中孝史・副委員長〉
- 昨年は公私ともに大きく変化して充実した一年でした。今年は午年。競馬ではなく馬術のように、今年も1年飛び跳ねていきたいと思ひます! 〈北原潤希〉
- 今年も地域の魅力を発信していけるよう、がんばりたいと思ひます。〈尾崎亜紀〉
- 無事に健康で笑顔いっぱい的一年を過ごせますように。〈庄司 幸〉
- 祝!! 初優勝「安青錦」大きな空(青)と麦畑(黄) 〈秋野進也〉
- 頑張らないけどあきらめない。今年もよろしくです。〈松原洋一〉

編集後記

全 広
員 報
参 委
加 員
で 14
す 人
〈順不同〉

- パスワード メモはとったが はてどれだ? 今年もこれの繰り返し?? 〈尾崎しほ子〉
- 今年は皆さん健康に気を付けましょう、と自分に言い聞かせてます。〈古屋敷 久〉
- 忙しい時期にですが、休む時は休み、頑張るときは頑張ります。〈尾崎友和〉
- 2026年もみんな笑顔でたくさん食べて適度に動いて心も体も健康になりましょう♡ 〈森まりか〉
- 昨年を振り返ると大阪万博の成功や大谷選手の活躍など、明るいニュースが多かったように思います。今年もその流れに乗っていききたいですね。〈莊司正樹〉
- 令和8年4月1日に道路交通法の改正が施行されます。この改正によって事故が本当に減少するの、不安も感じています。自動車や自転車だけでなく、歩行者にもルールが十分に周知されることを願っています。〈玉置美紀〉
- 2025年は人生で一番体調不良な一年となりました。今年には健康面に気をつけます。〈近藤昌太〉